

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 2 号
件 名	市民病院の主治医は、みずから患者を診て病状を確認した上で、説明に臨むよう改善を求めることについて
要 旨	<p>新潟市民病院の主治医のリーダーは、「患者が入院して退院するまで患者と一度も面談しない主治医もいる。」と説明しています。私の家族が入院した際の説明時にも、後で主治医のリーダーとわかった医師と初めて面談しましたが、全く診察しないし、手術後の経過も聞きませんでした。</p> <p>その際に、病状の説明を求めましたが、説明できませんでした。全く患者の病状を確認せず、入院期間中に一回だけしかない病状説明なのに、病状説明の準備をしていませんでした。最近でも、「画像を見せてほしいという患者はほとんどいない、見たくない患者もいるので見せていない。」と言っています。</p> <p>病状説明の前に看護師から、「時間がかかってもいいから、疑問に思っていることはしっかり聞いてください。」と言われて臨んだにもかかわらず、「わからない。」と説明できませんでした。</p> <p>よって、以下の改善を求め陳情いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主治医はみずから患者を診察すること。 2 病状説明時には、病状の説明ができるよう準備をすること。 3 病状説明時には、病状の説明をすること。
付 託 年月日 委員会	<p>第 1 項 } 市民厚生常任委員会) 第 3 項</p> <p>令和元年 9 月 13 日</p>
受 理	令和元年 9 月 4 日 第 287 号